



特集

# 砂子又郷友会・子ども会

**静** けきが心地良い  
東通の夜。砂子  
又地区に軽快な太鼓  
と鉦(かね)の音が響  
き渡った。

砂子又郷友会・子ども  
会が合同で砂子又  
地区集会所(ふれあい  
の館)を会場に、地区  
のお正月を彩る発表  
会を1月1日に開催  
しました。

会員の方々は、この  
日のために、平日の夜・  
休日にとくさん打ち  
習い(練習)を行いま  
した。

当日会場には、地元  
の住民が老若男女問  
わず様々な世代が40  
名ほど集まり、賑やか  
に会話や酒を楽しん  
でいました。

この発表会もコロナ  
禍で令和2年から開  
催を見送っていたこと  
もあり、楽しみにして  
いたことでしょう。

現在、10名の会員で  
構成されている砂子

又郷友会。昨年7月、  
砂子又郷友会を支え  
てくれていた会員が若  
くして亡くなりまし  
た。今回の発表会を、  
きつとどこかで見てく  
れていたのではないで  
しょうか。

郷友会会長の地花紀  
人さんに現在と今後  
の活動について聞きま  
した。

「現在は、未来の伝  
承者である子ども達  
に対して能舞への興  
味、理解促進のため、  
子ども会と連携して  
伝承活動を実施して  
います。また、会員数  
が減少しているため、  
お互いをカバーしあえ  
る様、会員個人の出来  
ることを増やすべく  
日々練習しています」

**東通村の郷土芸能の  
魅力は何ですか？**

「村にはたくさん  
の集落があり、それぞ  
れが伝承しているため、  
同じ演目でも若干違

